

物語 村の山の

まほしよら 北原まで

Let's meet in Hitahara.

ちょっと昔の山の暮らし 記録と写真展

2026.2.7sat - 2.28sat

大江町和紙伝承館にて



大江山の麓に伝説や昔話の残る小さな村があります。福知山市大江町北原、ひと昔前まで、そこここに山をめぐる豊かな営みがありました。その記録をたどりながら、過去と現在をつなぎ、これから新しい物語を思い描きます。



古写真提供：上総三代春さん・大隅巖さん・上垣幸重さん

Talk Event

会期中のトーク企画がふたつ！
お気軽にご参加ください 詳細は裏面

2.8
sun.

13:30から14:30
お話し会「イトさんの昔話」

2.23
mon.
祝

13:30から15:30
講演と座談会
「山の村 きのう・きょう・あした」
小山元孝さん ほか

会場：大江町和紙伝承館

〒620-0324 京都府福知山市大江町二俣1883
電話 0773-56-2106

※開館日時が限られます

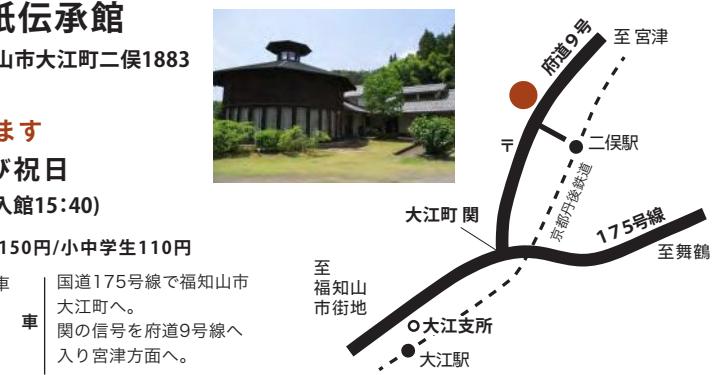
毎週土・日曜日及び祝日

10:00～16:00(最終入館15:40)

入館料：一般200円/高校生150円/小中学生110円

電車 京都丹後鉄道「二俣駅」下車
徒歩4分
福知山駅より約26分
宮津駅より約22分

車 国道175号線で福知山市
大江町へ。
関の信号を府道9号線へ
入り宮津方面へ。



北原まで おこましよ

物語の
村の山



ちょっと昔の山の暮らし 記録と写真展

2023.2.7sat - 2.28sat

3月1日(日)~8日(日)の予定はSNSなどでお知らせします。

大江山の麓に位置する北原地区(福知山市大江町)は、平家の落人伝説が残り、幾層にも重なる歴史を感じられる村です。

ひと昔前まで村には、山とともに生きる豊かな営みがありました。かつての北原分校(現公民館)に残された品々からは、住民の地域や学校への思いが感じられます。古い写真を見せてもらい話に耳を傾けると、自然の循環の中で成り立っていた暮らしが見えてきます。そこには、今の時代を生きる私たちが学ぶことが多くあるように思います。

しかし、多くの人が暮らした村も、今は数少ない住民と関係者だけでその営みが引き継がれています。

この企画では、住民の皆さんから提供していただいた写真や資料などを紹介して、そこから何を学び、これから何ができるのかを考えゆきます。

Let's meet in Kitahara.

Talk Event 会期中のトーク企画

予約不要
参加無料
但し入館料が
いります

2.23 月曜日 祝 13:30 から 15:30



講演・座談会

「山の村 きのう・きょう・あした」

講演: 小山元孝さん (こやま もとたか・福知山公立大学教授)

「消えない村—京都府北部の離村と記憶の継承から考える—」

プロフィール: 京丹後市出身。1997年網野町役場入庁、2004年合併により京丹後市役所職員となる。2022年より現職。公務員時代は主に地域の文化財保護に携わっていた。また、離村集落のその後についての調査を続けている。編著書『消えない村—京丹後の離村集落とその後一』等。

座談会: 小山元孝さん、チームみすずの皆さん、北原の皆さん他

2.8日曜日

13:30 から 14:30

「イトさんの昔話」

大江の昔話を語る会

北原の亀井イトさんの
昔話を語ります。

会場: 大江町和紙伝承館

〒620-0324

京都府福知山市大江町二俣1883

※開館日時が限られます

毎週土・日曜日及び祝日

10:00 ~ 16:00

(最終入館 15:40)



北原では古くから和紙が作られてきました。
和紙伝承館に展示されている紙漉きの道具
の多くは北原で使われていたものです。

主催 | シンマチサイト実行委員会 SHINMACHI SITE

シンマチサイトって何?

福知山市・新町商店街の空き店舗を拠点に活動するアートスペースで、アートを軸にワークショップや展示などで様々な試みを行っています。新町での活動と並行して、地域に出向きフィールドワークを重ねながらプロジェクトを開催しています。今回は地元大江町にある山あいの村、北原での活動の一部を紹介します。(シンマチサイト代表 新井厚子)

問い合わせ | シンマチサイト実行委員会

E-mail: shinmachi.site@gmail.com
または Facebook/Instagram の DM で
ご連絡ください。

〒620-0029 京都府福知山市下新3
旧さいとう家具店

www.shinmachisite.com

